



# ファイナルレポート

第 28 回 国際ラボテクノロジ・分析技術・バイオテクノロジ専門見本市・会議 2022 年 6 月 21 日~24 日

2022年6月24日

# analytica 2022 その成功にラボが歓喜

### Summary

- 39 カ国から出展企業 891 社、114 カ国から来場者約 26,000 人
- 主要トピックはラボのデジタルトランス フォーメーション(DX)
- 7月8日までオンライン版「analytica extended」が視聴可能



## Facts & Data

_	
会期	2022 月 6 月 21 日(火)~24 日(金)午前 9 時~午後 6 時(最終日午後 4 時まで)
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH)
規模	全 5 ホール 約 55,000 ㎡ (2018 年)
出 展 企 業	39 カ国から 891 社 (2018 年: 47 カ国から 1,163 社)
来場者総数	114 カ国から約 26,000 人 (2018 年:111 カ国から 35,626 人)
専 門 分 野	ラボテクノロジ、分析技術、品質管理、バイオテクノロジー・ライフサイエンス・診断技術
主な出展品	アプリケーション、分析・診断機器・処理・技術、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置、試薬・化学製品、バイオテクノロジ公衆衛生関連技術、スタートアップフォーラム(技術交流、各種コンサルティングほか)
出展日本企業 (現地法人・代理店 出展含む)	(株)アルバック、(株)エス・テイ・ジャパン、オリンパス(株)、樫山工業(株)、(株)キーエンス、コニカミノルタジャパン(株)、(株)島津製作所、(株)GSI クレオス、(株)デンソーウェーブ、東ソ一(株)、(株)ニコン、日本ジェネティクス(株)、日水製薬(株)、日本電子(株)、社団法人日本分析機器工業会、日本分光(株)、ネクサス(株)、浜松ホトニクス(株)、(株)日立ハイテク、(株)平山製作所、富士フイルム和光純薬(株)、ホソカワミクロン(株)、(株)堀場製作所、(株)ワイエムシィ 他(50 音順)
専用 URL	www.analytica.de (英語 / ドイツ語)

素晴らしいビジネスムード、喜ばしい顔、そして多くの活発な議論: 6月21日から24日までドイツ・ミュンヘンで開催された analytica 2022の会場では、世界各国から訪れたラボ業界の関係者が直接顔を合わせて歓喜に沸いた。世界をリードするこの見本市で、出展企業891社がラボや分析技術、ライフサイエンス、バイオテクノロジーの広範囲にわたるイノベーションを約26,000人の来場者に紹介した。見本市と併催された analytica Conference では、科学交流に焦点が当てられ、実践的支援プログラムではこれからのラボの世界を活性化させるソリューションについて話し合われた。そして、ラボのデジタル化は引き続き最重要議題として取り上げられた。

主催者メッセ・ミュンヘンの CEO ラインハルト・ファイファーは、「analytica 2022 は完ぺきな成功を収めた。4年間の空白の後、世界各国のラボ業界はミュンヘンのこの会場で再び一堂に会することができた。研究と産業におけるラボのバリューチェーン全体を包括的かつ詳細に網羅する見本市は analytica 以外にはない」と締めくくった。 analytica のアドバイザリーボード会長で EVIDENT 社(Olympus)の Siegbert Holtermüller 氏は、「アイデアを直接共有したり、顧客の目の前でイノベーションを紹介したりすることができ、業界にとっては非常に素晴らしい時



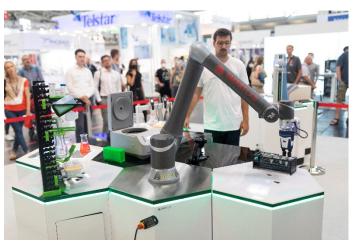
間であった」と語った。analytica の Exhibition Director アーミン・ヴィットマンは、「特にラボにおけるデジタル化は重要なトピックであり、様々な分野が既に有しているノウハウを束ね、科学界、産業界、そしてユーザーに、未来のラボを一緒に形作る場を提供する国際的なプラットフォームがいかに重要であるか、それが明らかになった」と付け加えた。

#### 来場者と直接会える喜び

Beckman Coulter Life Sciences 社の Uwe König 氏は、「analytica は、デジタル化やオンラインによるコミュニケーションのいずれも直接対話ができる見本市の機能のほんの一部にしかなり得ないことを証明した。多くの顧客が直接対話の機会を待ち望んでいるところにあって、4日間の会期中、当社のブースには多くの人に来てもらった」と語った。PerkinElmer 社の Beth Constable 氏が「当社のブースは常に多くの人で溢れていた。こんな情景を待っていた」と話し、Mettler-Toledo 社の Andreas Weninger 氏が「業界の将来にとって、人と人が直接会って話せる見本市は今後も重要性を増す」と述べるなど、皆で見本市開催の重要性を改めて確認した。

#### 実際に生かせる知識の伝達

広範囲に及ぶテーマで開催された会議プログラムでは、現在のアプリケーション分野への幅広い洞察を共有した。デジタルトランスフォーメーションに関する特別プログラムでは、聴講者は自動化されたワークフローや接続されたデバイスとロボットの動作など、未来のラボをバーチャルリアルティのフロアで体験した。analyticaフォーラムでは COVID の研究、食品・環境分析、個別化医療などの重点トピックが取り上げられ、最新の研究成果が発表された。労働安全衛生に関するフォーラムは特に多くの聴講者を集め、実際に爆発を起こすライブデモンストレーションも行われて、ラボでの事故から身を守る方法が紹介された。もう一つのハイライトは、

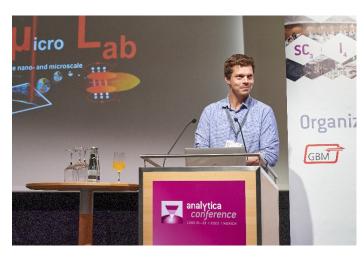


COVID 専門家の Prof. Dr. Jonas Schmidt-Chanasit 氏と Prof. Dr. Helga Rübsamen-Schaeff 氏の二人による講演であり、多くの注目を集めた。

#### 重要な議題を集めた analytica Conference

毎回、analytica にとって不可欠な会議プログラム analytica Conference には 1,487 人が参加し、水分析からメタボローム研究、データ管理に至るまでの議題について、約 200 件の講演とポスターセッションが行われた。 analytica Conference コーディネーターのドイツ化学会 Dr. Carina Kniep 氏は、「振り返ってみれば、ドイツ化学会(GDCh)、ドイツ臨床化学研究所(DGKL)、生化学・分子生物学学

会(GBM)で構成された analytic フォーラムは、非常にレベルの高い analytica Conference であったと言える。世界的なパンデミックによる中断以来、このような科学的交流を待ち望んでいた」と、高く評価して締めくくった。



#### 新サービス: analytica extended

今年初めての試みとして、見本市終了後 14 日間の デジタル開催 analytica extended を設けている。会 期中ミュンヘンの会場に来られなかった人のため に、analytica-extended.de のサイトで、6 月 25 日 から7月8日まで、オンラインによるバーチャルプ ラットフォームを提供しており、訪問者は見本市で紹 介されたすべての分野のイノベーションについて学 んだり、出展者に直接コンタクトしたりすることができ る。さらに、デジタルトランスフォーメーションに関す る特別イベント analytica Conference のハイライト やフォーラムからのプレゼンテーションといったサ ポートプログラムは、ウェビナーで聴講できる。

#### analytica 2022 の結果

今回の analytica には 39 の国と地域から 891 社が出展し、そのうち 45%はドイツ国外からである。また、114 の国と地域から約 26,000 人が来場した。ドイツに次いで来場者が多かった国は、順に、オーストリア、スイス、イタリア、イギリス、フランス、オランダ、ポーランド、アメリカ、スペイン、そしてスロベニアである。

次回の analytica と analytica conference は、2024年4月23日から26日まで開催される予定。

## 資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先: メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: <u>info@messe-muenchen.jp</u> URL: <u>www.messe-muenchen.jp</u> (日本語) <u>www.messe-muenchen.de</u> (英語 / ドイツ語)